


 佐賀県立男女共同参画センター
 佐賀県立生涯学習センター

☎ 0952-26-0011

📍 交通アクセス

✉ お問い合わせ

[男女共同参画センター](#)
[生涯学習センター](#)
[DV総合対策センター](#)
[相談する](#)
[図書を借りる](#)
[視聴覚機材や
PCを借りる](#)
[ホールや研修室を
借りる](#)
[トップページ](#) > [生涯学習センター](#) > [講座レポート](#) > [30年度](#) > [生涯学習関係職員実践講座](#) > 平成30年度 生涯学習関係職員実践講座（課題編①）報告

平成30年度 生涯学習関係職員実践講座（課題編①）報告

佐賀県立生涯学習センターでは、生涯学習・社会教育関係職員に必要な知識や実践力を身につける

「生涯学習関係職員実践講座」（基礎編・実践編・課題編）を行っています。

2月15日（金）に、課題編①講座をアバンセにて開催しました。

人が集まりたくなる場のつくり方

「つどう・まなぶ・むすぶ」地域の拠点としての可能性をさぐる ～「ヨコ」に広げる公民館運営の心得～



今回は、地域のさまざまな資源をつなぎ、協働して事業に取り組む公民館のあり方について、ユニークな実践事例から学び、人が集まり、学びあう場とは何かを考えていきました。

【講師】宮城 潤 さん（那覇市若狭公民館館長、NPO法人地域サポートわかさ理事・事務局長）

沖縄県より那覇市若狭公民館の宮城館長を講師にお迎えしました。公民館での取組みを紹介してもらいながら、人が集まりたくなる企画や場づくりのポイントを「わかさ式の心得」としてお話いただきました。

若狭公民館は昨年度、文部科学省による優良公民館表彰でグランプリに選ばれ、その公民館活動が広く認められました。公民館報コンクールやホームページコンクールなどで全国最優秀賞を受賞するなど、対外的に届く情報発信にも力を入られています。そもそも今の実績を残されているのは、地域の現状を把握して見てきた地域課題に対応するために、従来のやり方に捉われず、ユニークな新しい手法による事業へのチャレンジがあるからです。

事例として、地域の青年層が公民館活用について考えたアイデアをもとに始まった『朝食会』（毎月1回、10年以上継続中）や、若狭エリア内でも公民館の無い地区の公園でオープンする『バーラー公民館』（「ハコモノ」ではなく公民館的「機能」を創出）など、事業に関わった地域の人々のエピソードを交えながら紹介されました。

そして、人が集まりたくなる場づくりの心得として、①「がんばらない」をモットーに続けること、②人に関わってもらうための“不完全さ”を持つこと、③自分自身が楽しむ（楽しく見せる）ことを提示され、講座やイベントの後に、地域の日常がどんな世界になってほしいのか、社会や人々の関係性の変化をイメージして取り組むことが大切だとお話しいただきました。

ショートムービーやたくさんの画像を用いて、取組みの楽しさや魅力が十分に伝わってくるお話に、集中して耳を傾ける受講者の様子が見られました。



“枠にはまらない”公民館のかたちをさぐる ～地域課題から事業化へのステップ～

後半は、事業を企画する際の手引書「企画づくりのじゃばら手帳」を参考に、具体的な企画を考えるグループワークを行いました。（※「企画づくりのじゃばら手帳」はNPO法人地域サポートわかさが開発したものです）

まず、企画づくりのプロセスについて、課題設定→企画→評価の流れに沿ってお話しいただきました。その中で、企画者自身の企画への想いを大切にすること、視点を変えて発想を柔軟にすること、できるだけ具体的な対象者を想定することなど、流れを丁寧に追いつきながら教えていただき、企画づくりのポイントを学ぶことができました。

グループワークでは、メンバーの中から対象地域（公民館）を決め、地域の現状や課題を共有。そして、そこで何ができるのかアイデアを出し合い、融合させ、ユニークで面白いものに改良しながら企画の中身を考えました。地域や公民館の規模が異なるメンバーでの話し合いでしたが、悩みを共有し、お互いの意見を受け入れながら、真剣かつ和やかな雰囲気でのワークとなりました。



その後の企画発表では、どのグループも実際の課題がベースにあることで、より具体的な行動が提案されていて、今後の事業のヒントになったという声が多く聞かれました。また、企画それぞれに対して宮城館長からアドバイスをいただき、「実際にやってみよう！」と企画の実現に向けて背中を押してもらった公民館もあったようでした。

最後に、「地域課題と楽しさを組み合わせて企画をどうつくるのか、そこが公民館職員の腕の見せ所です。この仕事の醍醐味です。企画を立てるのは大変。だからこそ、一人ではなくグループで、自分と属性の違う人たちと話しながら、アイデアを広げることを大切にしていきたいと思います！」と、熱いエールを送っていただきました。



● 参加者の声 (講座アンケートより抜粋)

- ・講師の取り組み事例は地域の課題に対して様々なアプローチをされていて、学ぶことが多かった。
- ・今後の公民館運営に大きなヒントをいただいた。
- ・これからの公民館の向かう方法を示してもらったように思う。企画とともに、事後評価にもしっかり取り組みたい。
- ・グループワークが楽しく、内容も濃かった。その中での気づきが多くあった。

[アバッセとは](#) | [リンク集](#) | [公益財団法人 佐賀県女性と生涯学習財団](#)

アバッセ 佐賀県立男女共同参画センター
佐賀県立生涯学習センター

TEL : 0952-26-0011
FAX : 0952-25-5591

〒840-0815
佐賀県佐賀市天神三丁目2-11(どんだんどの森内)

[交通アクセス](#)

[お問い合わせ](#)

開館時間

火曜～土曜日：8時30分～22時00分
日曜・祝日：8時30分～17時00分
(ホールは22時00分まで)

休館日

毎週月曜日(祝日も含む)
12月29日から翌年1月3日まで

[館内フロアマップ](#) >>

[施設利用の手続き](#) >>

[利用料金表](#) >>

[施設利用Q&A](#) >>

アバッセレストラン
「あいちゃん農園」 お問い合わせは
080-4312-4831